

1 体験場所、活動内容

体験場所：愛媛労災病院、十全総合病院

活動内容：薬の調合、会計作業、検査場の見学、シーツの取り換え、ベッド移動
看護師さんと一緒に患者さんの足湯の介助、患者さんと塗り絵

2 体験を通して学んだこと

体験を通して、医療従事者の皆さんが患者さんの病気を治すために様々な面で関わっており、患者さんの病気を治しているのは医師だけではないということ学びました。病院には医師、看護師、准看護師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、救急救命士、薬剤師、保健師、視能訓練士、臨床検査技師、臨床工学技士、歯科医師、歯科衛生士などのたくさんの仕事があり、それぞれ免許を取らないといけないことが分かりました。

私は、看護師さんがてきぱき働いているのを見て改めてカッコいいなと思いました。休憩したり、椅子に座ったりせず、ずっと動いていました。ナースステーションに戻っても、休憩するのかなと思ったらパソコンに患者さんの状態を書き入れたり、面会に来た患者さんの家族の方と話したりして、お茶を飲む暇もないくらい忙しそうでした。しかし、患者さんの前では皆さん笑顔で明るく接していて本当に尊敬しました。

薬剤師さんは、高齢の患者さんが薬を間違えて飲まないように、朝飲む薬はまとめて渡すなどして工夫されていました。病棟ごとに患者さんの名前が書かれた引き出しが人数分ある棚のようなものがあります。その引き出しに必要な分の薬を入れて棚ごと病棟に運びます。薬が自分で管理できない患者さんは看護師さんが管理します。薬の中には組み合わせてはいけない薬やアレルギーがある患者さんには使ってはいけない薬もあるので、薬剤師さんと看護師さんが相談して使う薬を決めています。危険な組み合わせになってないか合計3回チェックします。とてもよく考えられているなと思いました。また、どの職業も人とコミュニケーションをとることが多々あるので、コミュニケーション能力を身に付けることも大切だなと思いました。薬を作らせてもらったのがうれしかったです。

臨床検査技師さんに、普通の顕微鏡では見るできないような細菌や白血球、赤血球を高度な顕微鏡で見せてもらったり、エコーで動脈を見ながら説明してもらったりしました。説明はとても難しかったけれど貴重な体験をさせていただけてうれしかったです。

臨床工学技士さんには、実際に酸素マスクを起動させてもらいました。手術をしていると聞いてとてもカッコいいなと思い、少し興味をもちました。また、理学療法士さんや作業療法士さんに話を聞き、リハビリの道具を触らせてもらったり車椅子に乗せてもらったりしました。

3 もっと知りたいこと

看護師さんに「また機会があったらぜひ来てね」と言っていただいたので、機会があれば絶対に行きたいです。貴重な体験がたくさんでき、充実した4日間を過ごせたのでよかったです。十全病院や労災病院の看護師さんのような、笑顔の絶えない優しくてカッコいい看護師になりたいです。